

Spire_M

小学校版

■ P.2 新しい教科書 **音楽のおくりもの**ができました!



■ P.8 **長唄の世界2**
長唄佐門会 三代目 杵屋 佐喜

■ P.10 **初めてのソルフェージュ**～音階を歌ってみよう～
作曲家、東京工科大学非常勤講師 鈴木 一真

■ P.12 **KOBEYA通信 第1回**

新しい教科書

「音楽のおくりもの」

ができました!

小学音楽「音楽のおくりもの」が新しくなります。

軽く、扱いやすい教科書。

子どもたちが楽しく学習に取り組み、＜主体的・協働的で深い学び＞を引き出す教科書。

先生がたがご指導しやすい、わかりやすい教科書。

カラーユニバーサルデザインに配慮した美しいビジュアルで、

音楽の楽しさが紙面いっぱいに広がります。

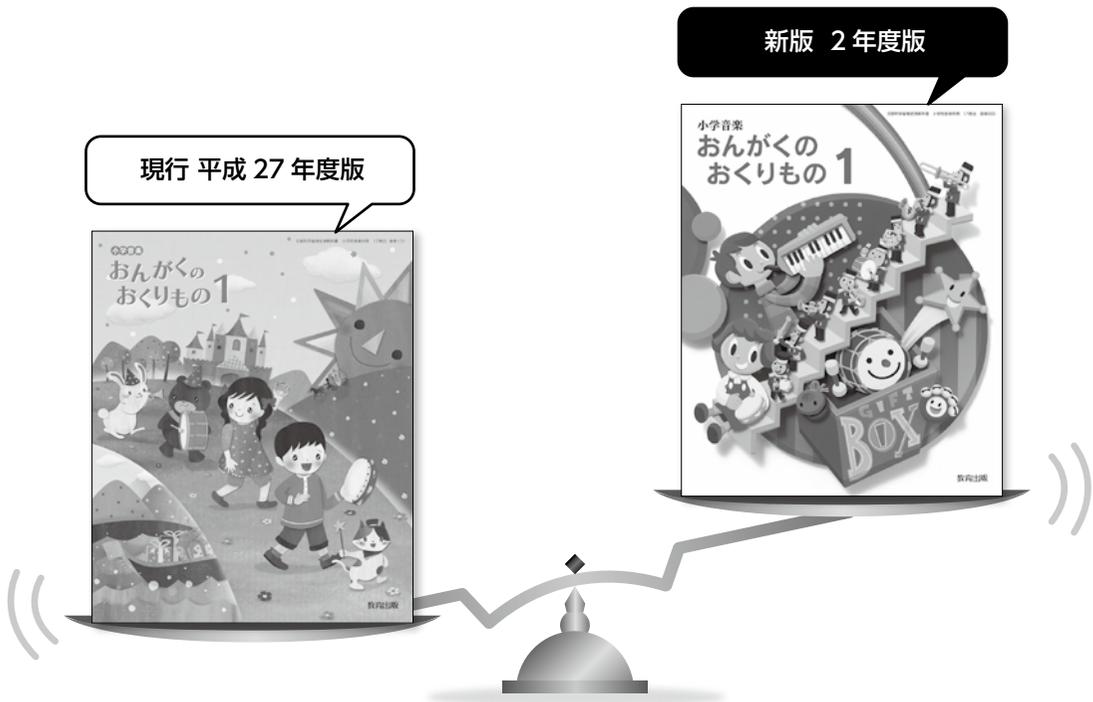
音楽の楽しさを
表紙からも発信!

各学年の学習内容や
教材曲のイメージを生かし、
音楽の楽しさを紙面いっぱいに
表現しました。



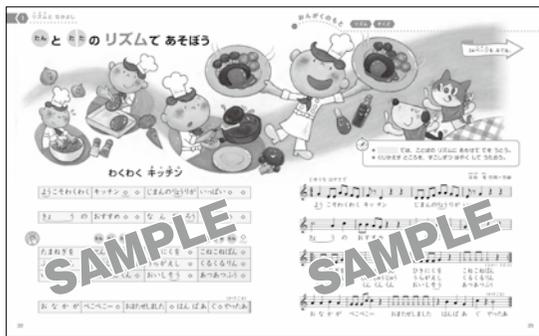
子どもたちのために、軽量化に挑戦！

判型の変更などさまざまな工夫により、全体に軽量化しました。子どもたちが負担なく学習できます。



★ 3年以上はサイズを変更しました！

低学年サイズ… AB判 (現行と同じ)



1年 p.22

中・高学年サイズ… AB判 ⊕ 天地 20mm



6年 p.14

★ サイズアップでも、軽量化しています。

判型を大きくすることで、ビジュアルアップと、子どもたちの視覚負担の軽減が実現。
主体的な学びの為の情報量の増加でも負担がかりません。

自ら学び、楽しむ子どもたちのための工夫

題材ごとに学習の見通しを示しました。

< 音楽的な見方・考え方 > の育成のために、音楽を形づくっている要素を< 音楽のもと > として示しました。

3年生以上はメモ欄に、自ら気づいた要素等を書き留められます。

題材名 学習のめあて

2 歌声ひびかせて
きれいなひびきで生き生きと歌おう

音楽のもと

学び合う音楽 — みんなで歌げんを深めよう

この山光る

作曲 長瀬実夫 作詞 下イヅツ民謡 編曲 橋本良雄

♩ 116♩

1 このやまひかる ホラヒ ホラホ
2 やまやまのせて ホラヒ ホラホ

あのやまわらう ホラヒヤッホー
まわれよちきゆう ホラヒヤッホー

どくこるまくてらに
ホヒホラホ

いわひだねきょうほも
をかやくよどんび

ホラヒヤッホー

スタート

せんりつのとくちょうを生かして歌いたいな。

せんりつのリズムを手で打ちながら、歌ってみよう。
ととがいがわかるかな。
のところがくうべみよう。

それぞれのせんりつをどんなふうで歌おうかな。
いろいろ歌い方をためてみよう。

きれいなひびきの声で歌おう
● 高いきれいなひびきの声で、「ヤッホー」と言ってみよう。
● 同じようなきれいなひびきで、「あーヒ ホーホー」「ヤッホー」の高い音を、遠くによびかけるように歌おう。

歌声

せんりつのとくちょうを生かして、きれいなひびきの声で歌えるかな。

ゴール

さん歌音 さん歌音

ホルディリディア (スイス民謡)

声のひびきや表げんを楽しもう。

3年 p.24



全学年に、子どもたちの主体的な学びを引き出す『まなびナビ』を新設しました。

さらに中・高学年では、『まなびナビ』を発展させた「学び合う音楽」のコーナーを設定し、学びのプロセスを示しました。

学びのプロセス や 題材ごとの学習の見通し を示すことで、子どもたちが見通しをもって学習を進め、深めることができます。



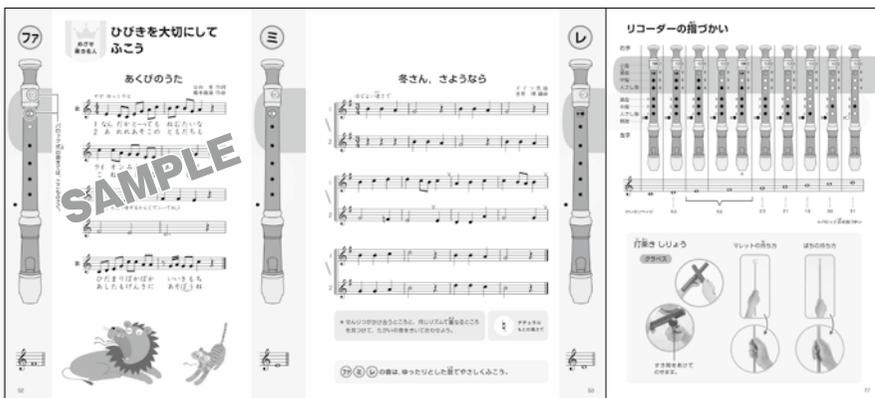
★透明シートを効果的に活用！

前ページの大判写真を利用した透明シートで、オーケストラの楽器について理解を深めます。

5年 p.28~31



★巻末資料も子どもたちの目線にたって設定しています。★



3年 p.77

リコーダーの指づかいのまとめは、巻末の折込ページに掲載しているのので、どのページからでも参照しながら練習できます。



★『まなびリンク』は、教科書のために用意されたWEBコンテンツです。

このマークが付いている教材には、動画・音声・解説資料等のコンテンツが、弊社WEBページ内に用意されています。

子どもたちが楽しみながら学習を深めることができます。



3年 p.55



音も連動！

※『まなびリンク』は教科書目次に掲載されたURLやQRコード等からアクセスできる無料コンテンツです。PC・スマートフォン等とインターネット環境によって、家庭等校外からもアクセスが可能です。

※有料回線を使用する場合には、料金が発生しますのでご注意ください。また、先生方や保護者の方の管理のもとで、適切にご活用下さい。

この他にもさまざまな工夫がこらされている2年度版

音楽科教科書 小学音楽「音楽のおくりもの」の詳細は、弊社WEBサイトでご紹介しています。

是非ご覧ください。

URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



長唄の世界 2

長唄^{きもん}佐門会 三代目 杵屋^{きねや} 佐喜^{さき} さん

長唄に発声法はない？!

さて、前号で皆さまは「長唄ってなんだか面白そう！」と思って下さったと信じて、今号は長唄の発声法についてお話をしたいと思います。前号で申しましたが、私は学生時代声楽を専攻し、ベルカント唱法でイタリア歌曲、オペラアリアなどを勉強しました。そのため、長唄のプロとなる際には周りからは揃って「発声法が違うから難しい」という声を掛けられました。まずハッキリと結論から言います。実は長唄には「発声法」なんてありません！ 両方学んだからこそ本当にそう実感しています。そもそもベルカント唱法というものは身体の小さいイタリア人がより大きく美しい声を出すために編み出した唱法で、極端に言えば歌詞が聞き取れなくてもテノールの美しいhigh-Cにはブラーボ！ ですね。逆に日本という国は、壁に耳あり障子に目ありという長屋文化でしたから、大きい声を必要とせず、口を大きく開けなくてもコミュニケーションが取れる言葉、文化が発達しました。「Buon Giorno！」と「おはようございます」のイントネーションを比べてみると分かりやすいかもしれません。そのため日本の音楽では「美しい声」よりも「美しい言葉」が優先され、文学としての要素がより大切にされてきたと考えます。いくら美しい声でも「さ〜く〜ら〜♪」が「さ〜こ〜ら〜♪」となってしまうと、日本語ではなくなってしまいますね。あくまで「さくら」です。発声法ありきではなく、イタリア語にはイタリア語の歌い方、フランス語にはフランス語の歌い方があるように、それぞれの国の風土、言葉の文化があってこそ「発声法」なのです。つまり、長唄は日本語ですから、変に声を作るのではなく、日本人であればその人が本来持っている自然な「声」そのものが最も長唄に適した「発声」であると言えるのではないのでしょうか。先生方には長唄の発声法に先入観を持つことなく『日本語を大切に唄う』ということが何より正しい長唄の発声法であることを前提に、長唄の魅力を子どもたちに伝えていただけたらと思っています。

長唄童謡の世界

さて次に、私は数年前より一般社団法人長唄協会の委員として文化庁「伝統音楽普及促進支援事業」を担当しており、私が考える学校現場での長唄というものについてお話をさせて下さい。前号で長唄にも子ども向けの「童謡」があると記述いたしました。私は2017年に曾祖父・四世杵屋佐吉が大正～昭和にかけて作曲した子ども向けの童謡全33曲をまとめた『三味線であう！子どもと楽しむ長唄童謡』（CD2枚付）を出版いたしました。作詞には野口雨情や北原白秋などの著名な作詞家も参加しており、子どもたちに伝えたい「美しい日本語」の魅力が詰まった作品集です。私は授業のために数回の研修で学ぶ「勸進帳」よりも、このような童謡に込められた日本語の美しさ、動物の描写、四季の美しさなど、まずは先生方が教えやすい形で、押し付けではない日本音楽の魅力を子どもたちに伝えて頂くのが望ましいのではないかと考えております。

私が行なっているワークショップでも、子どもたちはいきなり長く難しい曲を聴くよりも、童謡は一度聴けばすぐに歌えるようになります。(もちろん先生も！) 子どもの感覚はすごいです！ 歌詞にはかわいい動物たちも沢山出てくるので、カエルの鳴き声や鳥のさえずりを奏でる楽器を用意して参加してもらったり、楽器がなければきっとクラスに一人は動物の声真似の得意な子どもがいるはず！？ 最後にはみんなが笑顔で大合唱となります！

今時く種はすぐには咲きませんが、子どもたちの笑顔は私の何よりの活力源で、一生の宝物です。こんな風に長唄、三味線に先入観を持つことなく接してくれたら、きっと大人になっても日本の音楽、文化に誇りを持ってくれるのではないかと期待をしています。

最後に、私たちが日々良い舞台、演奏をお届けできるよう研鑽を重ねていきたいと思っておりますので、ぜひ先生方も研修への参加に留まらず、劇場に足を運び、プロの演奏を聴き、長唄、和楽器の魅力を楽しんでいただけたら嬉しいです！

杵屋 佐喜

1983年東京生まれ。江戸時代より続く長唄佐門家元・七代目杵屋佐吉の次男。幼少より祖父・五世杵屋佐吉、人間国宝・杵屋佐登代に手ほどきを受け、6歳で国立大劇場にて初舞台。玉川大学芸術学科、声楽専攻卒業。第11回アジアクラシック音楽コンサート新人賞受賞。2002年佐喜の名を三代目として襲名。現在、長唄の唄方として全国各地の演奏会、歌舞伎公演、日本舞踊会、テレビ、ラジオに出演多数。NY・カーネギーホール公演、平成中村屋スペイン公演他、海外公演への参加も多い。また東京、静岡、長野を中心に自身の門弟育成に力を入れる傍ら、全国各地で子ども向けワークショップを開催。一般社団法人長唄協会の委員として教材の作成にも携わるなど、長唄の普及活動にも積極的に取り組んでいる。

母方祖父は「七人の侍」などで知られる映画俳優の木村功。



杵屋佐喜さんの曾祖父、四世杵屋佐吉さんが大正～昭和にかけて作曲した子ども向けの童謡全33曲をまとめた

『三味線でうたおう！子どもと楽しむ長唄童謡』

(CD2枚付。いろは譜版と文化譜版があります。)

お問い合わせは株式会社ライジングウイステリアまで

(FAX：03-3749-1443 / E-mail：info@r-wisteria.co.jp)

初めてのソルフェージュ ～音階を歌ってみよう～

作曲家、東京工科大学非常勤講師 鈴木一真

ソルフェージュは音楽能力の基礎を育成する大切なトレーニングです。ソルフェージュにはさまざまな課題がありますが、「視唱」は特に重要です。視唱とは、楽譜を読んで楽器の助けを借りずにメロディーを階名で歌う訓練。これを勉強することにより、楽譜を読む力（読譜力）、音感、拍子感、リズム感さらには和声感や音楽表現まで、多彩な能力を鍛えることができます。今号では私が授業・レッスンの第一回目で行っている〈視唱〉指導の実例をご紹介します。

音階を階名で

視唱課題のレッスンに入る準備として“ハ長調音階の上行・下行を正確に歌う訓練”を行います。「ドレミファソラシド、ドシラソファミレド」を正確に歌えることがソルフェージュ〈視唱〉の出発点。なぜなら音階進行（2度音程）を正確に歌えないと、跳躍音程（3度以上の音程）の隔たりを正確につかむことができないからです。それではハ長調音階の歌唱指導を実践します。ハ長調音階を正確に歌わせるためには「先生が音階に和音をつけてピアノ伴奏し、一緒に歌うこと」が非常に有益です。譜例をご覧ください。

♩ = 95
mf

ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

ド シ ラ ソ ファ ミ レ ド

和音進行を感じて生徒と歌う

音階は4/4拍子、テンポは♩ = 95で、1小節に1音、つまり全音符で4拍ずつ、ゆっくりたっぷり歌います。2音（2小節）でプレスを取るとよいでしょう。ピアノ伴奏は和音を4拍弾きます。必ず先生も一緒に歌いますが、音程が安定してきたら生徒だけにします。私は、先生が和音伴奏をつけて生徒と一緒に歌うことの効用を次のように考えています。

(1) 生徒に安心感

初めてソルフェージュの指導を行う際、まず「声を出す、ドレミで歌う」という行為そのものに生徒が慣れていないので、最初はスムーズに声が出ません。ですが先生と一緒に歌えば安心して声が出せます。第1回目の授業・レッスンで最も大切なことは「声を出すことは気持ちいい！ 歌うことは楽しい！」と感じさせることに考えています。声を出すこと、歌うこと自体が楽しければ、積極的に課題に取り組み、自然に上達します。

(2) 和声に対する感受性

音階に和音で伴奏をつけることは、生徒に和音進行の美しさ、音楽の楽しさを味わわせることを目的としています。音程を正確に合わせるだけならば「音階を単音で弾けば十分」と思われるかもしれませんが、しかし、それでは音取り目的の無味乾燥な練習となってしまう、音や音楽を楽しむ感性が薄らいでしまいます。譜例の伴奏のコード進行は、上行は主要三和音（I, IV, V）のみですが、後半は副三和音（II, III, VI）が入っています。私の授業・レッスンでは、時々、更に副属七や準固有和音など多彩な和音を織り交ぜたり、伴奏型をよりダイナミックにしてみたりします。すると生徒も響きの変化を楽しみ、使われている和音やコード進行に強い興味を抱くようです。音楽の最も基本的な素材であるハ長調の音階に伴奏付けをすることで、知らず知らずのうちに和声感を育成し、和声に対する感受性を深めることができます。

(3) 正確さと同調する力

「教師と一緒に歌うこと」「和音伴奏をつけること」は、この練習の本来の目的である「音階を正確に歌えるようにすること」においても極めて重要な意味をもちます。ピアノに合わせて正確に歌うということは“耳で音の高さを認識して（インプット）、声（声帯）で正確に再現する（アウトプット）”という作業です。視唱は「楽譜を読んで、心の中で音にして、声に出して歌う」という訓練ですが、「心の中で音にする能力」（内的音感）を身につけるには、前段階として「実際に鳴っている音に合わせて歌える能力」（同調）を身につける必要があります。音階を歌う練習は、まさに「同調」の訓練です。ここでも「同調させるのなら、単音で音階を弾けば十分」と考えがちですが、ピアノの音に合わせて声を同調させるより、人間の声同士のほうが同調させやすいのです。先生と一緒に歌うことの意義はここにあります。実際、ピアノの音に声のピッチを合わせようとしても、なかなか合わせられない、または合っているかどうか自分でわからない生徒も多いのです。それに対して、声同士ならば音色が調和するので、はるかにピッチが合わせやすくなります（実際、一流の合唱団は何十人で歌ってもピッチとトーンが調和して溶け込み、一つの音色に聞こえます）。

和音で伴奏することの意義は、単音の伴奏と違って、自分の歌った音が和音の構成音の一つになるため、音響が立体的になり倍音も豊かになるので、ピッチを探しやすくなることにあります。逆に、ピッチがずれていると他の構成音との音程が不協和な響きになりますので、ピッチのずれに気づきやすくなる、と言い換えることもできます。

「ドレミファソラシドに伴奏をつけて歌う」というアプローチは、ソルフェージュ〈視唱〉学習の第一歩として、毎回の授業・レッスンにおけるウォーミングアップとして、私が永年にわたって実施してきたものです。時折、指導した生徒が「音階って美しい音楽だったんですね。」と言ってくれるときがあります。そのとき私は「音楽教師は、音楽の楽しさ、美しさを伝える伝道者であれ」という恩師の言葉を思い出し、音楽を教える素晴らしさを感じ、幸せな気持ちになります。

KOBEYA通信

第1回

教育出版 音楽科の Web 特設サイト「音楽の小部屋」。楽しみながら音楽を学べるコンテンツを更新中です。2018年6月に開設し、おかげさまで多数のアクセスをいただいております。「音楽の小部屋」を更にお楽しみいただくために、今号から数回に分けてその全貌を詳しくご紹介したいと思います！

「音楽の小部屋」とは？

コラムが読める 音楽の本棚

教科書の著者によるコラム、オーケストラや楽譜についての豆知識を読むことができます。

動画が見れる 小部屋TV

教科書の活動を補足する動画のほか、作曲家からのメッセージや日本の音楽の基礎を学べる動画などを視聴できます。

音楽の小部屋

kyoiku-shuppan ONGAKU-NO-KOBEYA



教育出版音楽科の情報を まとめてCHECK

「音楽の小部屋」から小学校・中学校・高等学校の教授資料ページや、教材ページにアクセスできます。

こちらから
アクセス
できます。



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/docs/music/kobeya/index.html>

第1回は…「小部屋TV」を詳しくご紹介!



Point

- 動画は、教材研究や日々のご授業にもご活用いただける内容です。
- 小学校、中学校、高等学校を通じてご活用いただける動画もご用意しています。
- スマートフォンからもご視聴いただけます。

活用例



Q1



Q2

Q1

リコーダー教材『星笛』を授業で扱います。
 範奏以外の資料はありますか？



『星笛』作曲家 北村俊彦さんからのメッセージでは、作曲家自身のコメントを公開しています。
 作曲者の北村俊彦さんに、リコーダーへの思いや演奏のポイントを語っていただきました。他の作詞者・作曲者のコメントも公開しています。

Q2

授業で箏に取り組みます。入門者に適した動画はありますか？



「日本の音楽に挑戦！ 箏編」では、基礎から箏の奏法を学べます。
 「日本の音楽に挑戦！」は、俳優の相原光希さんが、和楽器や日本の伝統的な歌唱に初挑戦するシリーズです。
 箏編は黒川真理先生をお迎えして、箏の基礎的な奏法をご指導いただきます。

動画紹介(小学校)



「授業お役立ち動画～音楽づくり～」

小学音楽『音楽のおくりもの』3年生～6年生の音楽づくりの活動例を紹介する動画です。「『問いと答え』を生かした音楽づくり」「音階をもとにした音楽づくり」「インターロッキングの音楽づくり」「音の組み合わせを生かした音楽づくり」の4本が公開されています。見どころをご紹介します。

1 活動の手順がわかりやすい

音楽をつくる手順を、具体例を用いながら丁寧に解説します。動画内で使用している書き込みシートなどは、ホームページからダウンロードできます。

書き込みシート
はこちらから！



「インターロッキングの音楽づくり」より。つくったリズムを実演するので、音と楽譜が結びつきます。

2 工夫のヒントが満載

深い学びのために、使う楽器やさまざまな工夫の例などを、演奏とともに紹介しています。



●音が長く伸びる楽器を組み合わせるなどして音楽を広げていきます

「音の組み合わせを生かした音楽づくり」

3 発展的な演奏例をご紹介します

教科書の活動に即した演奏例のほか、より発展的な演奏例も紹介しています。



「『問いと答え』を生かした音楽づくり」

* + ✦ 次回の「KOBeya 通信」もお楽しみに！ ✦ + *

小学生のための合唱曲集 MUSIC JAM KIDS シリーズ好評発売中!

※価格は全て税込み

MUSIC JAM KIDS 1



【U&I】 若松 歎 作詞・作曲・編曲
 「鳥になって」 瑞慶覧尚子 作詞・作曲
 「夢色マシーン」 うらん 作詞 富澤 裕 作曲
 「いのち」 小海永二 作詞 西澤健治 作曲 他
 B5判 全 18 曲 977 円 範唱 / カラオケ CD 3,086 円

MUSIC JAM KIDS 2



「崖の上のポニョ」 近藤勝也 作詞 宮崎 駿 補作詞
 久石 譲 作曲
 「来る来る春が来る」 坂田おさむ 作詞・作曲
 「ヒミツのこみち」 磯野 晃 作詞・作曲
 「笑顔でいよう」 池田綾子 作詞・作曲 他
 B5判 全 15 曲 823 円 範唱 / カラオケ / カラピアノ CD 2,571 円

MUSIC JAM KIDS 3



「夢みるムーン」 高頭 潔 作詞 赤尾 暁 作曲
 「ラティティ」 あだち ひろたか 作詞 坂元 優 作曲
 「ゆき」 草野心平 作詞 新実徳英 作曲
 「パワー オブ ドリーム」 中田留美 作詞 海原真也 作曲 他
 B5判 全 12 曲 864 円 範唱 / カラピアノ CD 2,592 円

MUSIC JAM KIDS 4



「トゥルー」 森 由里子 作詞 小林啓樹 作曲
 「冒険者」 金子麻友美 作詞 名田綾子 作曲
 「あしたのボクへ」 マイクスギヤマ 作詞 梅本由紀 作曲
 「僕らの日々」 池田綾子 作詞・作曲 他
 B5判 全 11 曲 918 円 範唱 / カラピアノ CD 2,700 円

お問い合わせ：☎ **03-3238-6908** FAX **03-3238-6999**
 右の QR コードから web サイト曲集・CD のページへアクセスいただけます。





第17回

地球となかよしメッセージ

作品募集(2019年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真(またはイラスト)にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格 小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)

応募期間 2019年7月1日～9月30日
詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。

**作品
テーマ**

- ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み
- ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること
- ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会
◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

教育出版

「地球となかよし」事務局 TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

前回
入選作品



四季のある日本

私たちが住んでいる地球。その中でも、私が住んでいる日本には、春夏秋冬という四季があります。その事により、旬の食べ物や、その時期にしか見られない動物や植物がたくさんあります。そして、夏は暑く、冬は寒いといった特ちょうもあります。しかし最近では、地球温暖化により、少しずつ季節がくっっているように感じます。これから先も、地球に住みつづける私たちが、四季を感じながら生きていくには、地球をよごさず、動物や植物を大切にしていくなきゃと、ポスターをかいたことにより、あらためて気づくことができました。(小学4年)

小学音楽通信 **Spire.m**〔2019年 春号〕 2019年3月31日 発行

編集:教育出版株式会社編集局 発行:教育出版株式会社 代表者:伊東千尋
印刷:大日本印刷株式会社 発行所:教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 03-3238-6864 (内容について)
URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp> 03-3238-6901 (配送について)



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- | | |
|-------|---|
| 北海道支社 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F
TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509 |
| 函館営業所 | 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F
TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198 |
| 東北支社 | 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F
TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395 |
| 中部支社 | 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F
TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825 |
| 関西支社 | 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F
TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401 |
| 中国支社 | 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F
TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040 |
| 四国支社 | 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F
TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134 |
| 九州支社 | 〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡E室
TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140 |
| 沖縄営業所 | 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F
TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411 |

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」ののっとり、配付を許可されているものです。